



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 セック
 コード番号 3741 URL <http://www.sec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 秋山 逸志
 (氏名) 中川 美和子

TEL 03-5491-4770

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	961	5.5	96	35.9	101	23.8	67	29.4
27年3月期第1四半期	911	△7.2	71	△29.9	82	△22.3	51	△16.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	26.23	—
27年3月期第1四半期	20.27	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,382		4,561			84.8
27年3月期	5,580		4,637			83.1

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 4,561百万円 27年3月期 4,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	52.00	52.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	52.00	52.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,000	6.4	220	25.2	230	13.8	150	16.1	58.60
通期	4,250	3.7	600	△8.6	630	△10.8	420	△6.8	164.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	2,560,000 株	27年3月期	2,560,000 株
28年3月期1Q	255 株	27年3月期	255 株
28年3月期1Q	2,559,745 株	27年3月期1Q	2,559,745 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、前年同月比の月別売上高は平成27年5月まで22か月連続の増加となっており、IT需要は全体的には堅調に推移していると推察されます。当社事業分野では、オープンプラットフォームの需要は減少しておりますが、社会公共分野が堅調を維持し宇宙先端分野が増加するなど需要が変動しております。

こうした傾向の中、当社は、重点テーマであります「需要構造の変化に対応し、継続的な成長を目指す」を実践し増収増益となりました。

ビジネスフィールド(以下、ビジネスフィールドをBFと省略)別には、モバイルネットワークBFは、移動体通信事業者向けの開発が減少し、売上高は23百万円(前年同期比72.0%減)となりました。ワイヤレスBFは、移動体通信事業者向けのサービス系の開発やモバイル決済端末の開発は堅調だったものの、マルチメディア放送関連の開発が減少し、売上高は288百万円(同13.4%減)となりました。インターネットBFは、民間企業向けの大型案件の開発がピークになり、売上高は225百万円(同87.1%増)となりました。社会基盤システムBFは、医療、防衛分野の開発が堅調で、売上高は297百万円(同4.8%増)となりました。宇宙先端システムBFは、先端技術に関わる国の研究機関向けの開発に加え、車両自動走行の研究案件の開発が増加し、売上高は114百万円(同55.6%増)となりました。

この結果、全社売上高に占める割合では、インターネットBFと宇宙先端システムBFが上昇し、その他BFが低下しております。

また、ソリューションビジネスは、地上デジタル放送用組込みソフトウェア(製品名: airCube)の販売が減少し、売上高は10百万円(同33.2%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高961百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益96百万円(同35.9%増)、経常利益101百万円(同23.8%増)、四半期純利益67百万円(同29.4%増)となりました。

ビジネスフィールド(BF)別売上高

ビジネスフィールド	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
モバイルネットワーク	83,373	9.2	23,365	2.4
ワイヤレス	333,564	36.6	288,903	30.1
インターネット	120,598	13.2	225,666	23.5
社会基盤システム	284,200	31.2	297,922	31.0
宇宙先端システム	73,644	8.1	114,598	11.9
ソリューション	15,815	1.7	10,557	1.1
計	911,197	100.0	961,013	100.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

ビジネスフィールド(BF)別受注状況

ビジネスフィールド	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
モバイルネットワーク	15,429	36.0	20,382	20.5
ワイヤレス	281,131	68.0	157,078	59.3
インターネット	275,646	181.8	217,148	150.2
社会基盤システム	190,849	85.8	511,593	106.8
宇宙先端システム	123,653	497.3	190,822	229.0
ソリューション	11,402	115.8	19,003	96.3
計	898,112	103.8	1,116,028	102.3

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は、前事業年度末に比べ198百万円減少し、5,382百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加697百万円、受取手形及び売掛金の減少969百万円などによる流動資産の減少290百万円と、投資有価証券の増加85百万円などによる固定資産の増加92百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ122百万円減少し、820百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少160百万円、短期借入金金の増加123百万円、賞与引当金の減少100百万円などによる流動負債の減少120百万円によるものであります。

純資産は、四半期純利益による増加、配当金支払いによる減少などの結果、前事業年度末に比76百万円減少し、4,561百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の83.1%から84.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間における業績は計画通りに推移しており、第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成27年5月13日の「平成27年3月期決算短信(非連結)」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,063,369	2,760,409
受取手形及び売掛金	1,959,001	989,045
有価証券	200,000	200,000
その他	120,530	103,059
流動資産合計	4,342,901	4,052,513
固定資産		
有形固定資産	63,385	61,023
無形固定資産	4,198	4,943
投資その他の資産		
投資有価証券	591,739	677,248
その他	577,974	586,333
投資その他の資産合計	1,169,714	1,263,582
固定資産合計	1,237,298	1,329,550
資産合計	5,580,199	5,382,063
負債の部		
流動負債		
買掛金	150,190	119,766
短期借入金	36,000	159,000
未払法人税等	166,890	5,918
賞与引当金	207,000	107,000
その他	236,347	283,808
流動負債合計	796,429	675,492
固定負債		
役員退職慰労引当金	69,834	71,709
資産除去債務	13,206	13,250
その他	63,167	60,173
固定負債合計	146,208	145,133
負債合計	942,637	820,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	587,341	587,341
利益剰余金	3,552,004	3,486,043
自己株式	△293	△293
株主資本合計	4,616,352	4,550,391
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,209	11,045
評価・換算差額等合計	21,209	11,045
純資産合計	4,637,561	4,561,437
負債純資産合計	5,580,199	5,382,063

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	911,197	961,013
売上原価	698,361	732,363
売上総利益	212,836	228,649
販売費及び一般管理費	141,642	131,930
営業利益	71,194	96,719
営業外収益		
受取利息	1,002	1,327
受取配当金	436	445
不動産賃貸料	1,069	841
補助金収入	6,788	—
受取出向料	2,030	2,167
その他	319	653
営業外収益合計	11,647	5,435
営業外費用		
支払利息	156	164
不動産賃貸費用	266	255
為替差損	264	—
営業外費用合計	688	420
経常利益	82,153	101,734
税引前四半期純利益	82,153	101,734
法人税、住民税及び事業税	945	883
法人税等調整額	29,331	33,705
法人税等合計	30,276	34,588
四半期純利益	51,876	67,146

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。